

起業したビジネスをつづけるためには？

～ビジネススクール受講生の事例に学ぶ～



国内最大のビジネススクールで多くの起業家や経営者の育成に関わってきたグロービス経営大学院仙台校リーダーの梶屋拓朗氏をモデレーターに、実際に東北で起業し活躍する起業家お二人をゲストスピーカーにお招きします。

同スクールでの学びを実務に活かしている起業家の事例を通して、ビジネスを起こすだけではなく、それをつづけるために何を考え、実行していけばよいのかを、参加者の皆様と深めていきます。



開催日時 平成**29**年**10**月**3**日 **火** **18:30** ～ **21:00**

会場 仙台市中小企業活性化センター 多目的ホール
(仙台市青葉区中央 1-3-1 AER 5階)

対象 起業に興味・関心のある方、起業したいと考えている方
(起業済みの方もご参加いただけます)

定員 100名 (先着順)

受講料 1,000円 (当日、受付にてお納めください)

申込方法 裏面をご覧ください (託児サービスもご利用いただけます)



モデレーター

グロービス経営大学院仙台校
仙台校リーダー **梶屋 拓朗氏**

慶應義塾大学総合政策学部を卒業後、日本GEを経て現職となり、東日本大震災直後のボランティアをきっかけに東北に入る。その後、東北の復興に貢献するために東北のビジネスパーソンが仲間と共にビジネススキルや志を高め合える場としてグロービス経営大学院仙台校の立ち上げに携わり、現在仙台校のリーダーを務める。共著『日本型「無私」の経営力』(光文社)、『東北発10人の新リーダー復興にかける志』(河北新報出版センター)。



ゲストスピーカー

株式会社 小高ワークスペース
代表取締役 **和田 智行氏**

東日本大震災に伴う原発事故で警戒区域とされ、現在は大部分の避難指示が解除された福島県南相馬市小高区に、帰還する住民の生活を支えるサービスを創出するために設立。「地域の100の課題から100のビジネスを創出する」を信条とし、コワーキングスペースの運営をはじめ、ガラスアクセサリーの製作・販売など幅広い事業を展開している。



ゲストスピーカー

特定非営利活動法人 アスヘノキボウ
代表理事 **小松 洋介氏**

東日本大震災を機に女川町復興協議会戦略室に入室。復興のために必要な「人」が暮らすためのまちと仕事をつくり、地域を活性化させることを目的として設立。国内外と女川町をつなぐパイプ役として、お試し移住プログラムなど女川町の魅力を伝える事業や、新規事業の立ち上げ支援・経営支援などひとつづくり・組織づくりに取り組んでいる。



主催：公益財団法人仙台市産業振興事業団 (仙台市起業支援センター“アシスタ”)

共催：仙台市・(公財)せんだい男女共同参画財団

後援：せんだい創業支援ネットワーク

H P : <http://www.siip.city.sendai.jp/assista/>

T E L : 022-724-1124